

○ 中部地方整備局所管の社会資本整備と一体となった観光振興について、平成30年5月21日(月)に岐阜県中津川市において、有識者や自治体及び観光関連団体等と現地視察を伴う意見交換を実施。

## ■ 意見交換会概要

日時：平成30年5月21日(月)11:00～17:00

概要：地域の現状説明：にぎわいプラザ

現地視察：(神坂スマートインター予定地、馬籠宿、落合宿、中津川宿、リニア岐阜駅予定地、苗木城跡)

意見交換：にぎわいプラザ



金城学院大学 教授  
佐藤 久美 氏



日本大学 教授  
大久保 あかね 氏



日本旅行業協会  
広報室長  
矢嶋 敏朗 氏



(株)KADOKAWA  
東海ウォーカー編集部編集長  
長瀬 正明 氏

出席者：佐藤 久美  
大久保 あかね  
矢嶋 敏朗  
長瀬 正明  
中津川市  
観光関連団体

金城学院大学国際情報学部 国際情報学科 教授  
日本大学短期大学部 ビジネス教養学科 教授  
(一社)日本旅行業協会 広報室長  
(株)KADOKAWA 東海ウォーカー編集部編集長  
青山市長、商工観光部、リニア都市政策部  
馬籠観光協会会長  
落合宿本陣ガイドボランティアの会会長  
中山道歴史資料館館長  
まちなかラボ社長  
苗木地域まちづくり推進協議会会長  
岩田企画部長、間宮事業調整官、広域計画課  
澤田観光部長

中部地方整備局  
中部運輸局



視察状況 (馬籠宿)



視察状況 (神坂S I C 予定地)



視察状況 (苗木城)



意見交換 (にぎわいプラザ)

## ■ 主な意見

- ・地元で活動されている方々の地域に対する「愛」「情熱」が伝わってきたので、これをさらに盛り上げてほしい。
- ・神坂スマートインタチェンジを活用することで宿場の連携した観光が実現できる。
- ・リニア総合車両基地の観光拠点化は重要であり、夜景を見せることで宿泊者増加も期待できる。
- ・旧街道を歩く外国人旅行者へ空き家、空き店舗等の有効活用(ゲストハウス)や多言語による情報発信及び現地ガイドの育成等が早急に必要な。
- ・一度に1日1千人の集客を目指すより、コンスタンスに1日百人の集客がある方が強いのでサスティナブルな観光を目指すことが重要。
- ・中津川市はすぐれた観光地が点在しているため、周り方や楽しみ方等をもっとPRすべき。
- ・現状の宿泊容量把握と同時に宿泊地から徒歩で利用できる飲食店等の案内が必要。また、外国人宿泊者への情報サービスとして他の宿場との連携が重要。
- ・中学生、高校生の学習教育とボランティアとしての地域を紹介することへの積極的な参加の取り組みが必要。
- ・首都圏へのPRや多言語によるSNSによる情報発信、欧米外国人に宿泊と就労体験が出来るような環境整備を行うと良い。
- ・冬期の集客のためには観光地と歴史ストーリーや物語等の一体的な見せ方の工夫が必要。